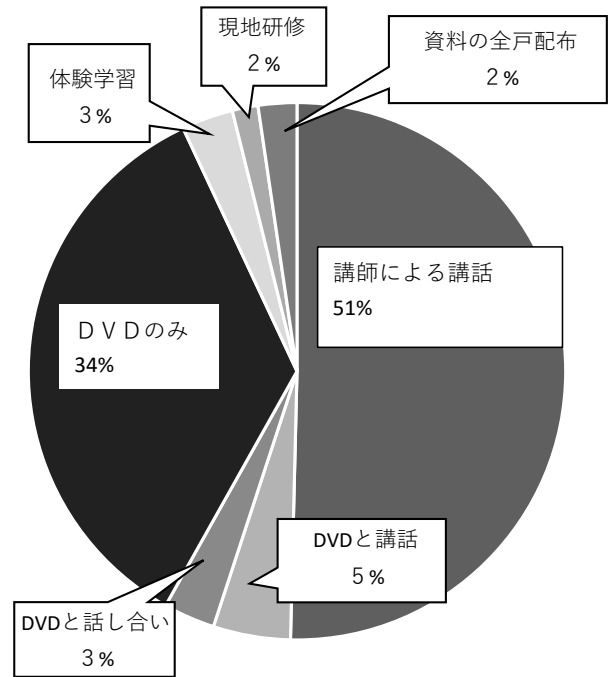


令和7年度（2025年度）自治会人権・同和問題学習会の実施状況について（2026.3.31報告分）

(1)実施方法の内訳

	R7年度	R6年度	増減
講師による講話	65件	70件	-5件
DVDと講師による講話	6件	14件	-8件
DVDと話し合い	4件	3件	+1件
DVDのみ	45件	42件	+3件
体験学習	4件	2件	+2件
現地研修	2件	2件	0件
資料の全戸配布	3件	4件	-1件
合計	129件	137件	-8件

集合研修



R 学習会を実施された自治会

7 71自治会 (71自治会中)

R 70自治会

集合研修を実施された自治会

70自治会 (延べ参加者 4,084人)

69自治会 (延べ参加者数4,142人)

(2)学習会のテーマ

	R7年度	R6年度	増減
同和問題	22回	37回	-15回
子ども	18回	28回	-10回
高齢者	19回	19回	0回
認知症	15回	13回	+2件
障害者	15回	13回	+2件
インターネット	18回	20回	-2回
女性・男女共同参画	4回	13回	-9回
ハラスメント	1回	7回	-6回
外国人	7回	9回	-2回
性的指向・性自認	3回	6回	-3回
患者	3回	0回	+3件
まちづくり	15回	7回	+8件
人権全般・その他	40回	38回	+2件
合計	180回	210回	-30回

(3)年代別参加者

	R7年度	R6年度	増減
20代未満	232人	87人	+145人
20代	75人	29人	+46人
30代	191人	184人	+7人
40代	471人	457人	+14人
50代	628人	634人	-6人
60代	870人	839人	+31人
70代	998人	1100人	-102人
80代以上	334人	262人	+72人
不明・未回答	285人	550人	-265人
合計	4,084人	4,142人	-58人

※1件の学習会で複数のテーマを設定されている場合があるため
学習会の件数とテーマの回数は一致しません。

学習会の事例紹介

堅苦しくなく、楽しんで！

事例1：ボッチャ体験

- ・ゲーム感覚で楽しかった。
- ・年齢問わずみんなで楽しめた。

事例2：手話歌コンサート

- ・楽しい学習会だった。
- ・聴こえない方も音楽を楽しめることを知った。

事例3：現地研修

- ・「見て・聞いて」肌で感じる事ができた。

事例4：人権落語・腹話術

- ・堅苦しくなく心に入ってきた。
- ・重く感じることなく理解できた。
- ・笑いから始まり、引き込まれた。

身近なテーマで！

事例1：認知症・高齢者の人権について

- ・認知症サポーター養成講座は寸劇でよく理解できた。
- ・介護や認知症の方への接し方がよく分かった。

事例2：子どもの人権について

- ・現役の園長先生、校長先生から話を聞き、学校園の取組の様子が分かった。
- ・子育てに活かせる内容だった。

事例3：インターネットの人権について

- ・中学、高校生の親として、リスクの再確認ができた。
- ・インターネットとの付き合い方を考えるきっかけとなった。

集めるではなく、集まる機会に！

事例1：おいもパーティー

事例2：ミニサロン

事例3：夏まつり

事例4：文化祭

事例5：敬老のつどい

事例6：初寄り

事例7：役員会

その他自治会行事と合同開催

- ・参加者は小学生から高齢者まで多岐にわたった。
- ・ほかの行事と重ねることで参加率が上がる。
- ・学習会をメインイベントの前に組み込むなど、参加者が自然と学習会に参加できる工夫をされた。
- ・子どもの参加もあり、違う雰囲気で開催できた。

同和問題をはじめとする人権課題をしっかりと学ぶ！

事例1：人権教育啓発講師団講師

- ・同和問題を通して、差別の不合理について考えた。意見交換を行う中、すべての人が生きやすい社会の重要性が共有されたと感じた。
- ・同和問題の重大さが分かった。参加者皆さんも考えさせられたと思う。

事例2：外部講師（滋賀県人権センター 他）

- ・具体的でわかりやすく参考になった。

事例3：講師による講話とDVDの視聴

事例4：DVDの視聴と話し合い

- ・受身の研修から参加型の研修への第一歩として進めた。



若い世代が参加しやすいようにするにはどうすればよいのだろう。

「子どもにもわかる人権」や「子どもの参加歓迎」などを開催案内に載せてはいかがでしょう。



DVDや講師をどうやって選ばばよいのだろう。

内容や対象に応じて、人権政策課からご提案いたしますので、お気軽にご相談ください。